

# 東北地方 1か月予報

(9月6日から10月5日までの天候見通し)

平成15年9月5日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

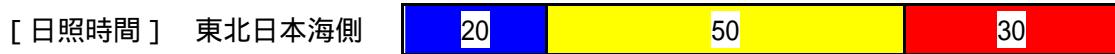
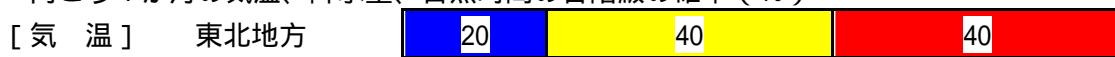
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わり、晴れて残暑となる時期があるでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量と日照時間は平年並でしょう。

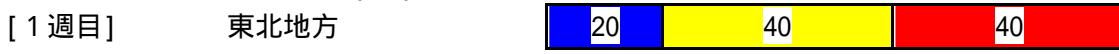
週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目は高い、3~4週目は平年並か高い見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)     平年並     高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い     平年並     高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 9月 6日(土) ~ 10月 5日(日)

1週目 : 9月 6日(土) ~ 9月 12日(金)

2週目 : 9月 13日(土) ~ 9月 19日(金)

3~4週目 : 9月 20日(土) ~ 10月 3日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月12日

3か月予報:9月25日(木) 14時00分

寒候期予報:9月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	18.4	212.5	123.3	20.4	19.2	17.4
新庄	18.0	150.6	111.1	20.4	19.0	16.7
若松	18.8	128.8	120.3	21.4	19.8	17.5
深浦	18.2	168.4	154.3	20.2	18.9	17.2
青森	17.9	115.0	160.7	20.1	18.7	16.7
むつ	17.1	166.1	148.6	19.1	17.9	16.1
八戸	17.7	152.9	146.5	19.7	18.5	16.7
秋田	18.9	169.6	154.8	21.2	19.8	17.7
盛岡	17.3	146.1	128.7	19.6	18.2	16.0
宮古	17.7	221.7	127.0	19.6	18.5	16.7
酒田	19.6	177.7	148.0	21.7	20.4	18.5
山形	18.7	127.3	124.6	21.1	19.6	17.4
仙台	19.5	207.0	122.1	21.4	20.2	18.5
石巻	19.0	160.3	134.4	21.0	19.8	17.9
福島	19.8	166.5	114.4	22.0	20.5	18.6
白河	18.1	206.3	111.4	20.4	18.9	16.9
小名浜	20.4	204.5	132.2	22.3	21.2	19.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.2	86~112	93~108
東北日本海側	-0.6~+0.2	88~113	93~108
東北太平洋側	-0.5~+0.2	87~111	92~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.6	-0.7~+0.4	-0.6~+0.3
東北日本海側	-0.8~+0.6	-0.7~+0.5	-0.6~+0.3
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.4	-0.5~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成15年9月5日 仙台管区気象台

## 1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月6日~10月5日) :

天気は数日の周期で変わり、晴れて残暑となる時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(9月6日~9月12日) :

期間の前半は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の所が多いですが、後半は高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(9月13日~9月19日) :

天気は数日の周期で変わり、晴れて残暑となる時期があるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3~4週目(9月20日~10月3日) :

天気は数日の周期で変わりますが、前線や気圧の谷の影響で天気のぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

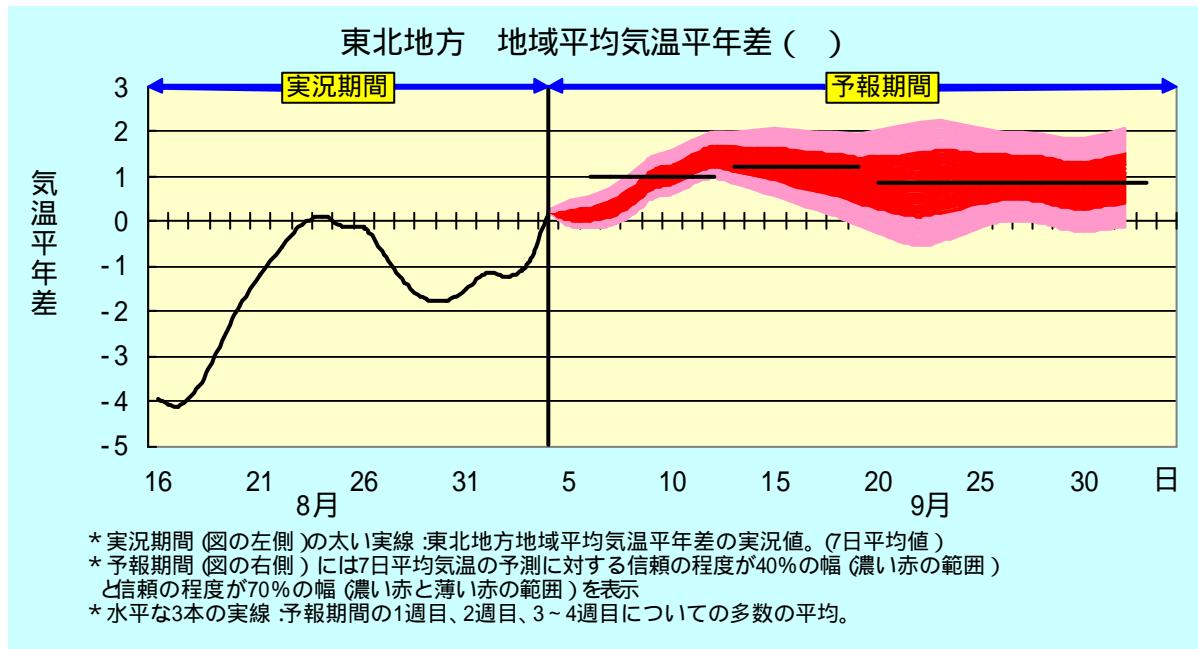
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.4日	3.1日	3.3日	7.0日
東北太平洋側	12.6日	2.6日	2.9日	7.1日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに「高い」と予測している。予報は、その他の資料から1週目と3~4週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

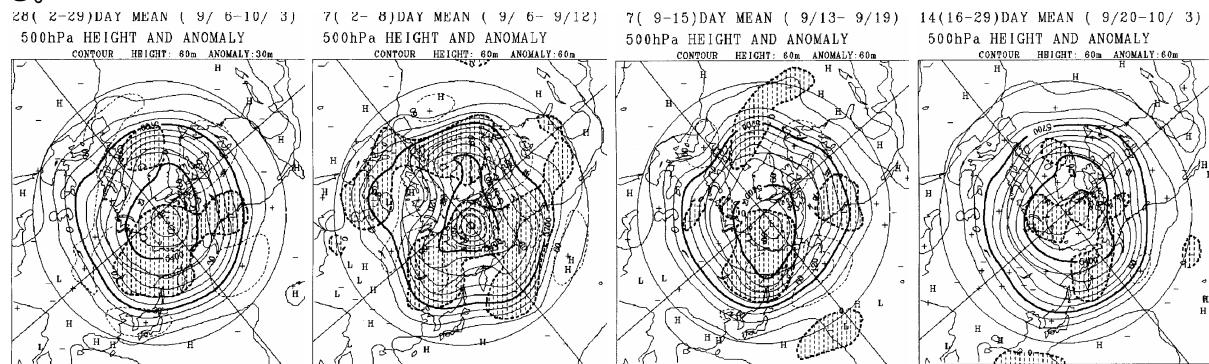


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、偏西風の流れは東西流が卓越しており、天気は数日の周期で変わる見込み。中緯度帯は広く正偏差に覆われ、特に華北から日本付近にかけては正偏差が強い。

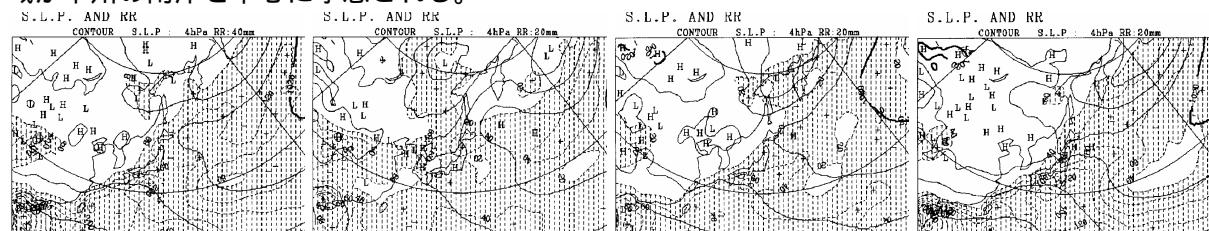
週別に見ても、期間を通して日本付近は広く正偏差。1週目は、中国東北区が負偏差となって日本の西が気圧の谷となり、前線や低気圧の影響を受ける時期がある。2週目は、ボッ海付近が強い正偏差。3~4週目は、カムチャツカ半島付近は負偏差となるが、極東は広く正偏差に覆われる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は数日の周期で変わる見込み。北海道の東には高気圧が予想され、東北太平洋側では湿った東よりの風の影響を受ける可能性がある。日本付近に降水域が広がるが、前線に対応すると見られるまとまった降水域は南岸が中心。

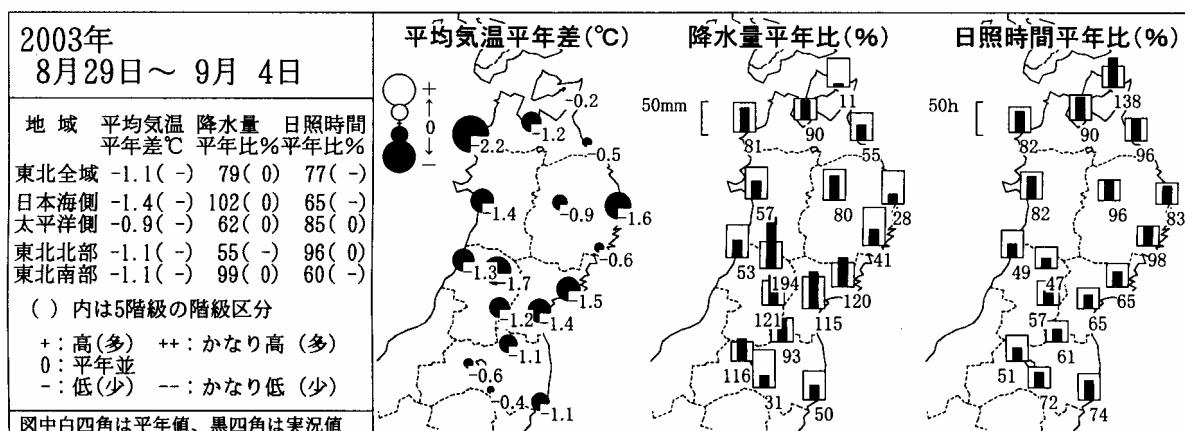
週別に見ると、1週目は北日本にまとまった降水域が広がり、北海道の東には高気圧が予想される。2週目は、月平均とほぼ同様だが降水域のまとまりは弱い。3~4週目は、まとまった降水域が本州の南岸を中心に予想される。



### 4. 最近1週間（8月29日～9月4日）の天候の経過

この期間、前半は本州中部に停滞した前線や寒気の影響で、東北南部を中心に曇りや雨の日が続いた。その後も東北地方は前線の影響を受けやすかったが、4日は移動性高気圧に覆われ概ね晴れた。

平均気温は低い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）